

九州沖縄農研のうごき

平成29年度一般公開（合志地区）

2年振りの一般公開となる10月21日が近づくにつれ、気象情報は晴れから曇りを経て小雨に変わってゆきました。昨年度は平成28年熊本地震のため開催できず、これまで主会場になっていた建物が震災で立入禁止となりテント中心の開催です。

時折小雨が降る中、約1,200人のご来場があり、それぞれの研究者が日頃の成果を説明しました。

また、ミニセミナー「地震が熊本農業に与えた影響」と写真展示を行いました（6月に開催した農研機構シンポジウムのコンパクト版です）。ほぼ満席となり質問も出るなど関心の高さがうかがえました。

大分県九重町では地震被害により水稲に代わる作物として当センター育成のそば品種「春のいぶき」を栽培しています。その穫れたてのそばを豊後高田

市の職人が会場で打ち、茹でたてを皆さまにご試食いただき好評でした。

さらに当センター育成の品種を使った商品を取り扱っている民間企業が出店し、多くの方々が買い求めておられました。

このほか、恒例の芋掘り体験、ロールペールお絵かき、ペットボトル雲づくりなども子どもたちに大人気でした。

アンケートではご来場4回目以上の方が半数おられ、毎年楽しみにしているとのこと回答も多くありました。これからもよりよいものにしていかなければならないとの思いを職員一同強くしました。

【合志地区一般公開実行委員長
農業技術コミュニケーター 相原貴之】



大型テントで研究成果の説明



打ちたて茹でたてそばに長蛇の列



関心を集めた熊本地震ミニセミナー



芋掘り体験はこどもたちに大人気